

第2次総合計画の中間見直し

後半4年間の後期基本計画を策定する必要があるため、中間の見直しを行います。

**Q** 後期基本計画の策定のメンバーは。

**A** 各課のグループ長で構成するワーキングチームで作業を行い、部長職で構成する策定委員会で検討を進めた。

**Q** 持続可能な地域づくりの推進とは。

**A** 地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを強化する。

**Q** 次世代通信網、データ活用推進とは具体的にどのような策か。

**A** 次世代通信網を活用した行政窓口のスマート化の取り組みを想定している。

**Q** 後期計画を作るにあたり、令和3年度に調査分析を行ったが、どのような内容か。

**A** 市民の意識アンケートの上、調査分析を行った。



▲第2次愛西市総合計画後期基本計画

**佐屋・立田地区の農業集落排水使用料を水道料金と併せて徴収**

**Q** 対象となる戸数は。  
**A** 約4500戸分を予定している。

**Q** 費用対効果は。

**A** 令和5年度以降は、海部南部水道企業団給水区域内の農業集落排水使用料(以下、使用料とする)の徴収などを企業団に委託します。そのため、使用料は、水道料金と併せて徴収されます。

**Q** 費用対効果は。  
**A** 令和5年度以降は、使用料徴収事務手数料に約1160万円、人件費及び納付書発送に係る委託料等が約1360万円軽減され、毎年約200万円の削減を図る予定です。

**Q** 今後の進め方は。

**A** 令和4年度は海部南部水道企業団のシステム改修と対象者から同意書をもらう作業に取りかかる。令和5年度は4月5月分の使用料を6月から水道料金と併せて徴収する。

**Q** 市民への影響は。

**A** 水道料金と使用料を併せて請求することにより、一度の支払いが多くなる。広報紙とホームページで周知する。また対象者へは通知文を郵送する。

**Q** 滞納の管理は。

**A** 滞納管理は市が行うため、委託業務には含まれていない。徴収事務には、使用料の督促に関する業務を含むが、督促未納者に対する滞納整理は除いている。

討論

令和4年度一般会計予算

賛成

先を見据えた予算

予算編成内容は、喫緊に対応しなければならぬ事業と10年先、20年先の愛西市を見据えた事業のバランスが見極められている。人口減少・少子高齢化社会への対応、持続可能な市内の産業の活性化、佐屋駅の周辺整備、道の駅「立田ふれあいの里」の再整備など、市が取り組まなければならない事業に対して的確に予算が配分されている。

反対

福祉を優先せよ

今後物価が上がることを考えられ、厳しい生活が待ち受けているのではないかと。道の駅の産直施設部分は古くなり改修は賛成だが都市公園には、集客予想が明らかでなく、市民の血税の支出は認められない。福祉を優先的に進めるべきだ。企業誘致で工業団地の進め方やマイナンバーカードの保険証の推進は問題だ。

◆◆決議◆◆

今定例会で次の決議が採択されました。  
▼ロシアのウクライナ侵攻についての決議